

岡山県の景気観測調査

(平成31年4月～令和元年6月期実績)

令和元年7月24日

岡山県商工会議所連合会

1. 調査方法 FAXによるアンケート
2. 調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目
①平成31年4月～令和元年6月期を前年同期と比較
②令和元年7～9月期の先行き見通しを平成31年4月～令和元年6月期と比較
3. 調査時期 6月下旬
4. 調査対象 県下商工会議所会員企業583社
5. 有効回答数 554社 (回収率95.0%)
- | | | | | |
|-------|------|------------|-----------|------------|
| 製造業 | 189社 | 食料品29社 | 繊維関連36社 | 紙・印刷・出版22社 |
| | | 機械金属35社 | 電気・精密機械9社 | 鉱業・窯業・土石9社 |
| | | 輸送用機械器具13社 | その他36社 | |
| 建設業 | 88社 | | | |
| 卸売業 | 72社 | | | |
| 小売業 | 94社 | | | |
| サービス業 | 111社 | | | |
6. 調査開始時期 平成10年12月

7. DI(ディフュージョン・インデックス)方式

DIは各調査項目について判断の状況を示す。
ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。
 $DI = (\text{増加・好転など「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化など「悪い」の回答割合})$

8. 問い合わせ先 岡山県商工会議所連合会 TEL(086)232-2262

岡山商工会議所	事業推進部	TEL(086)232-2262
倉敷商工会議所	産業振興課	TEL(086)424-2111
玉島商工会議所	総務課	TEL(086)526-0131
児島商工会議所	総務課	TEL(086)472-4450
津山商工会議所	経営支援課	TEL(0868)22-3141
玉野商工会議所	中小企業相談所	TEL(0863)33-5010
笠岡商工会議所	指導課	TEL(0865)63-1151
井原商工会議所	業務課	TEL(0866)62-0420
備前商工会議所	経営支援部	TEL(0869)64-2885
高梁商工会議所	総務企画課	TEL(0866)22-2091
総社商工会議所	業務課	TEL(0866)92-1122
新見商工会議所	指導課	TEL(0867)72-2139

平成31年4月～令和元年6月期「景況概要」

「景況は3期連続で改善するも、依然として慎重な見方続く」

景況全体では、DI値が▲5.1と前期(▲6.3)に比べ、1.2ポイントマイナス幅が縮小し、3期連続で改善した。業種別に見ると、小売業のDI値がこれまでの最高値となり、サービス業のDI値も大きく改善したが、製造業、建設業、卸売業ではDI値が悪化した。項目別で見ると、生産額・売上額、受注額でDI値が悪化したものの、原材料・商品仕入価格、資金繰り、採算(収益)ではDI値が改善した。一方、従業員数(常用)DIは4期連続で最高値を更新し人手不足はさらに強まっている。先行きは、米中貿易摩擦の激化や目前に迫る消費税引上げの影響など不透明感が増しており、依然として慎重な見方が続いている。

1. 景況

総合DI(好転-悪化)は▲5.1と1～3月期に比べ1.2ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではプラス幅が縮小、製造業、卸売業ではマイナス幅が拡大した。

2. 生産額・売上額

総合DI(増加-減少)は▲5.6と1～3月期に比べ2.5ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業ではプラスからマイナスへ転換、卸売業ではマイナス幅が拡大した。

3. 受注額

総合DI(増加-減少)は▲1.4と1～3月期に比べ12.1ポイント悪化しプラスからマイナスへ転換した。業種別では、建設業でプラス幅が縮小、製造業でプラスからマイナスに転換した。

4. 原材料・商品仕入価格

総合DI(下降-上昇)は▲32.2と1～3月期に比べ2.8ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、卸売業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業、小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

5. 製品・商品販売価格

総合DI(上昇-下降)は9.8と1～3月期に比べ3.9ポイントプラス幅が拡大した。業種別では、小売業でプラスマイナスゼロからプラスへ転換、サービス業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、製造業、卸売業ではプラス幅が縮小した。

6. 製品在庫・商品在庫

総合DI(減少-増加)は3.7と1～3月期に比べ3.5ポイントプラス幅が拡大した。業種別では、卸売業、小売業でプラス幅が拡大、製造業でマイナスからプラスへ転換、サービス業ではマイナスからプラスへ転換した。

7. 資金繰り

総合DI(好転-悪化)は▲5.8と1～3月期に比べ3.0ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではプラスからマイナスへ転換した。

8. 採算(収益)

総合DI(好転-悪化)は▲9.6と1～3月期に比べ2.4ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではプラスからマイナスへ転換、卸売業ではマイナス幅が拡大した。

9. 従業員(常用)

総合DI(不足-過剰)は28.1と1～3月期に比べ0.6ポイントプラス幅が拡大した。業種別では、建設業、卸売業、小売業、サービス業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業ではプラス幅が縮小した。

10. 従業員(臨時)

総合DI(不足-過剰)は24.1と1～3月期に比べ0.8ポイントプラス幅が縮小した。業種別では、建設業、小売業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業、卸売業、サービス業でプラス幅が縮小した。

1. 景況

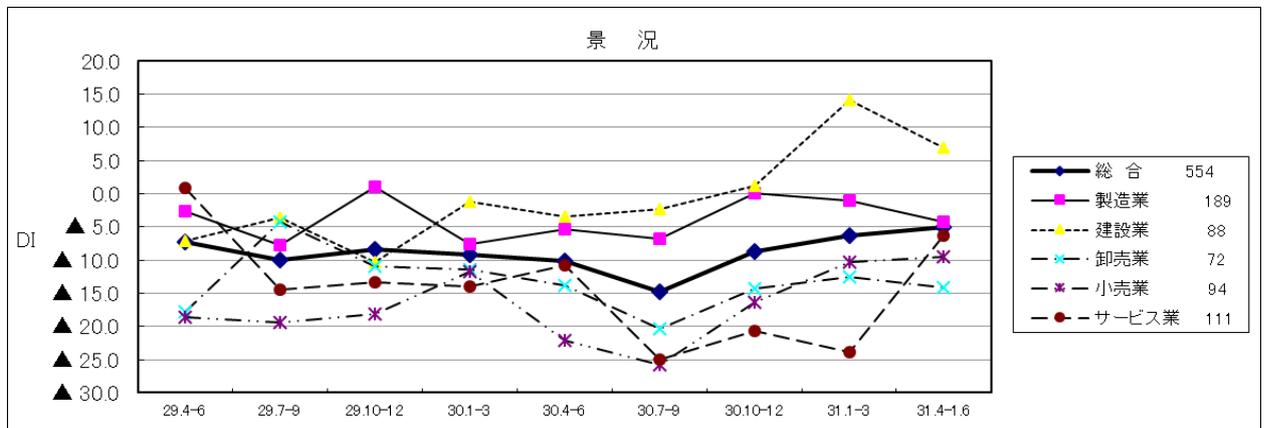
(1) 全体

総合DI（好転-悪化）は▲5.1と1と1～3月期に比べ1.2ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではプラス幅が縮小、製造業、卸売業ではマイナス幅が拡大した。

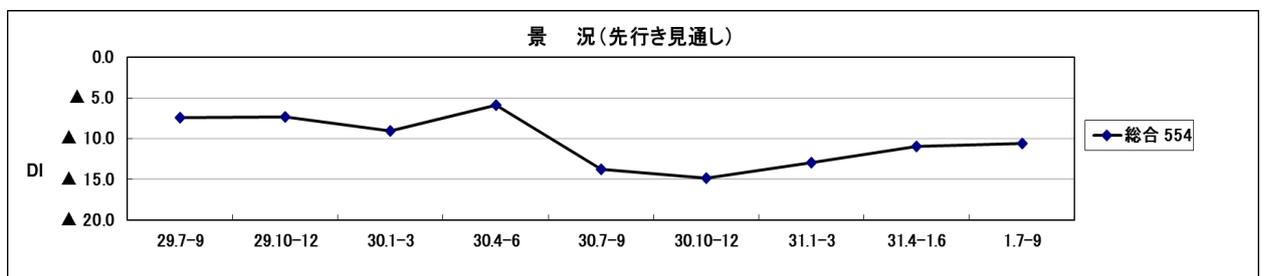
令和元年7～9月期の先行き見通し総合DIは▲10.6（前回調査時の先行き見通し総合DI ▲11.0）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

景況		29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
総合	554	▲7.3	▲10.1	▲8.5	▲9.1	▲10.1	▲14.8	▲8.7	▲6.3	▲5.1
製造業	189	▲2.6	▲7.7	1.1	▲7.5	▲5.3	▲6.8	0.0	▲1.1	▲4.3
建設業	88	▲7.1	▲3.6	▲10.3	▲1.2	▲3.5	▲2.4	1.2	14.1	6.9
卸売業	72	▲17.8	▲4.2	▲11.0	▲11.4	▲13.9	▲20.3	▲14.3	▲12.5	▲14.1
小売業	94	▲18.6	▲19.4	▲18.1	▲11.7	▲22.1	▲25.8	▲16.3	▲10.2	▲9.6
サービス業	111	0.9	▲14.4	▲13.3	▲13.9	▲10.7	▲25.0	▲20.7	▲23.9	▲6.4



<参考> 先行き見通し

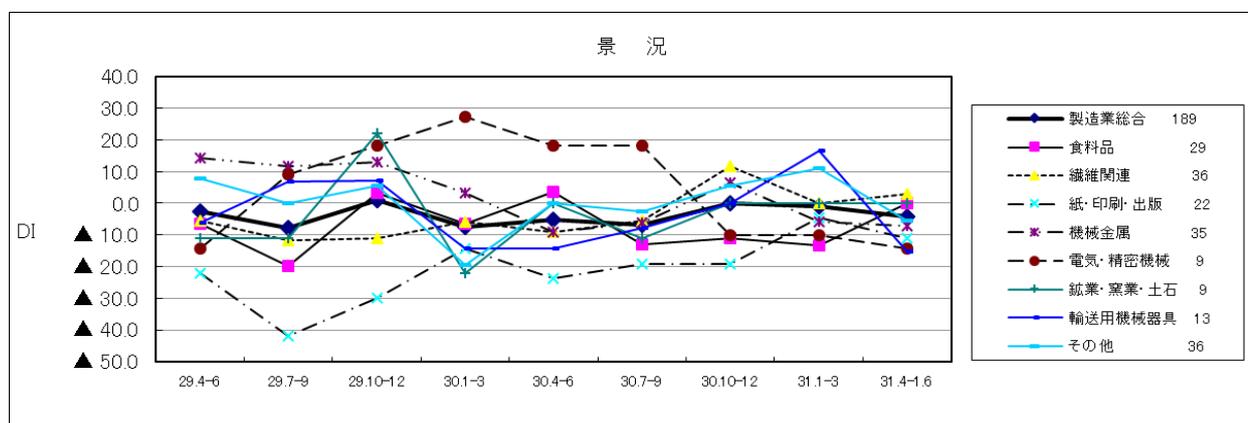
先行き見通し		29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
総合	554	▲7.4	▲7.3	▲9.1	▲5.9	▲13.8	▲14.8	▲12.9	▲11.0	▲10.6



(2) 製造業の内訳

繊維関連ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、食料品ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロで横ばいとなった。しかし、輸送用機械器具、その他ではプラスからマイナスへ転換、紙・印刷・出版、機械金属、電気・精密機械ではマイナス幅が拡大した。

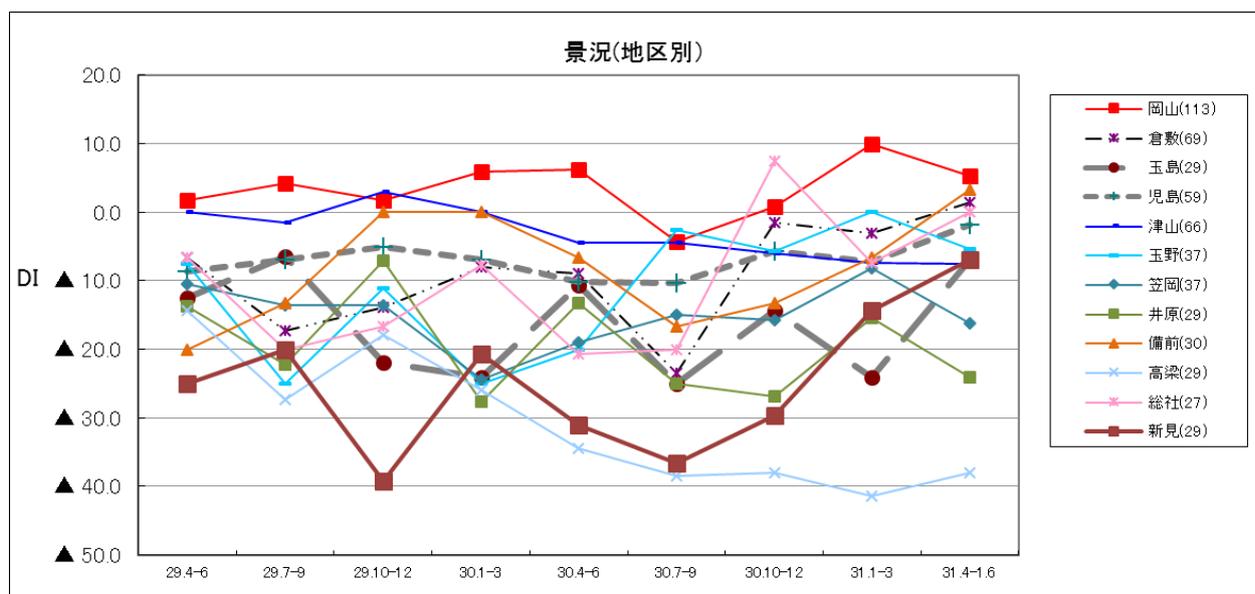
景況		29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
製造業総合	189	▲ 2.6	▲ 7.7	1.1	▲ 7.5	▲ 5.3	▲ 6.8	0.0	▲ 1.1	▲ 4.3
食料品	29	▲ 6.5	▲ 20.0	3.2	▲ 6.7	3.4	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 13.3	0.0
繊維関連	36	▲ 5.4	▲ 11.8	▲ 11.1	▲ 5.7	▲ 9.1	▲ 5.6	11.8	0.0	2.9
紙・印刷・出版	22	▲ 22.2	▲ 42.1	▲ 30.0	▲ 14.3	▲ 23.8	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 4.5	▲ 11.1
機械金属	35	14.3	11.5	12.9	3.3	▲ 9.1	▲ 6.3	6.5	▲ 5.9	▲ 7.1
電気・精密機械	9	▲ 14.3	9.1	18.2	27.3	18.2	18.2	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 14.3
鉱業・窯業・土石	9	▲ 11.1	▲ 11.1	22.2	▲ 22.2	0.0	▲ 11.1	0.0	0.0	0.0
輸送用機械器具	13	▲ 6.3	6.7	7.1	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 7.7	0.0	16.7	▲ 15.4
その他	36	7.9	0.0	5.4	▲ 19.4	0.0	▲ 2.6	5.4	11.1	▲ 5.6



<参考>地区別

倉敷、備前ではマイナスからプラスへ転換、総社ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、玉島、児島、高梁、新見ではマイナス幅が縮小した。しかし、岡山ではプラス幅が縮小、玉野ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、津山、笠岡、井原ではマイナス幅が拡大した。

景況(地区別)	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
岡山(113)	1.7	4.3	1.7	5.9	6.2	▲ 4.3	0.9	9.9	5.4
倉敷(69)	▲ 6.7	▲ 17.2	▲ 13.8	▲ 7.9	▲ 9.0	▲ 23.4	▲ 1.6	▲ 3.1	1.4
玉島(29)	▲ 12.5	▲ 6.5	▲ 21.9	▲ 24.1	▲ 10.7	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 24.1	▲ 6.9
児島(59)	▲ 8.6	▲ 6.9	▲ 5.1	▲ 6.9	▲ 10.2	▲ 10.3	▲ 5.7	▲ 7.3	▲ 1.8
津山(66)	0.0	▲ 1.5	3.0	0.0	▲ 4.5	▲ 4.5	▲ 6.0	▲ 7.5	▲ 7.6
玉野(37)	▲ 7.5	▲ 25.0	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 2.6	▲ 5.7	0.0	▲ 5.4
笠岡(37)	▲ 10.5	▲ 13.5	▲ 13.5	▲ 24.3	▲ 18.9	▲ 15.0	▲ 15.8	▲ 8.1	▲ 16.2
井原(29)	▲ 13.8	▲ 22.2	▲ 7.1	▲ 27.6	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 26.9	▲ 15.4	▲ 24.1
備前(30)	▲ 20.0	▲ 13.3	0.0	0.0	▲ 6.7	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 6.7	3.3
高梁(29)	▲ 14.3	▲ 27.3	▲ 17.9	▲ 25.9	▲ 34.5	▲ 38.5	▲ 37.9	▲ 41.4	▲ 37.9
総社(27)	▲ 6.7	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 7.7	▲ 20.7	▲ 20.0	7.4	▲ 7.4	0.0
新見(29)	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 39.3	▲ 20.7	▲ 31.0	▲ 36.7	▲ 29.6	▲ 14.3	▲ 6.9



2. 生産額・売上額

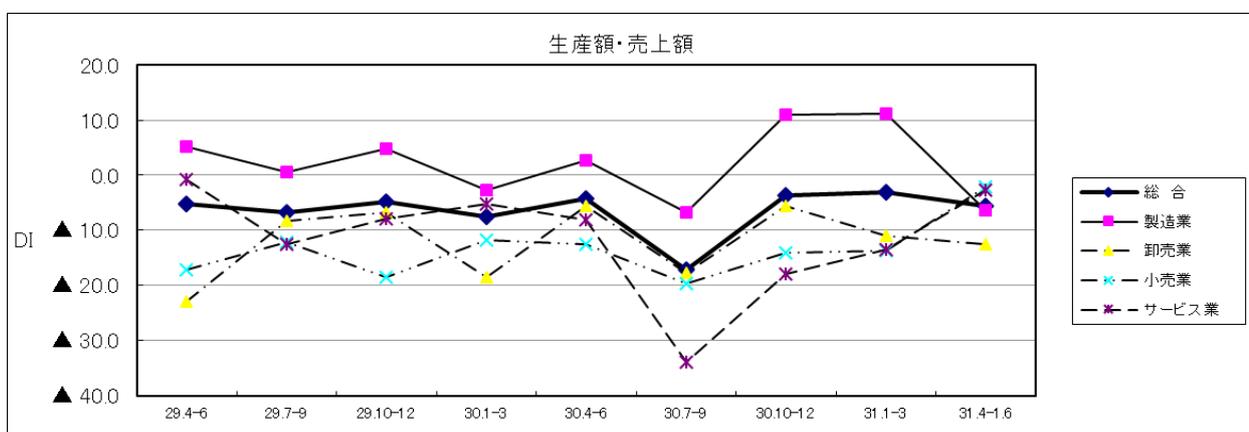
(1) 全体

総合DI（増加－減少）は▲5.6と1～3月期に比べ2.5ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業ではプラスからマイナスへ転換、卸売業ではマイナス幅が拡大した。

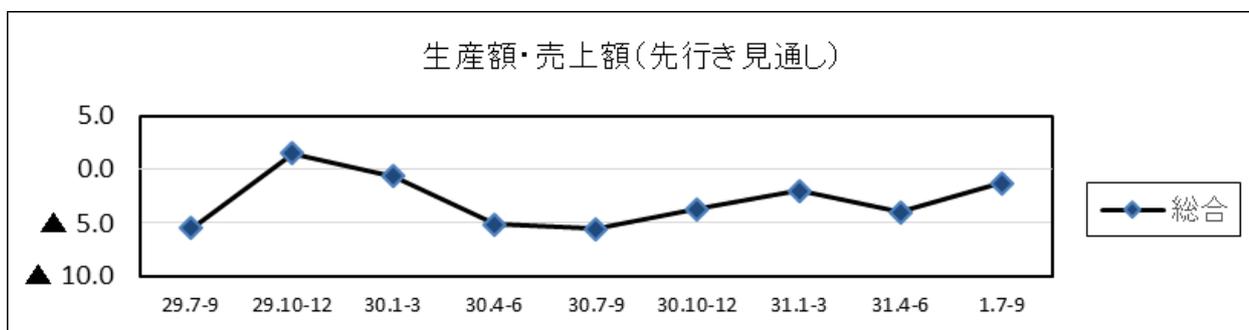
令和元年7～9月期の先行き見通し総合DIは▲1.3（前回▲4.0）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

生産額・売上額	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
総合	▲5.2	▲6.7	▲4.9	▲7.5	▲4.3	▲17.2	▲3.7	▲3.1	▲5.6
製造業	5.2	0.5	4.8	▲2.7	2.6	▲6.8	10.9	11.2	▲6.3
卸売業	▲23.0	▲8.3	▲6.8	▲18.6	▲5.6	▲17.6	▲5.6	▲11.0	▲12.5
小売業	▲17.2	▲12.2	▲18.6	▲11.8	▲12.5	▲19.6	▲14.1	▲13.6	▲2.1
サービス業	▲0.9	▲12.6	▲8.0	▲5.2	▲8.0	▲34.0	▲17.9	▲13.5	▲2.7



<参考> 先行き見通し

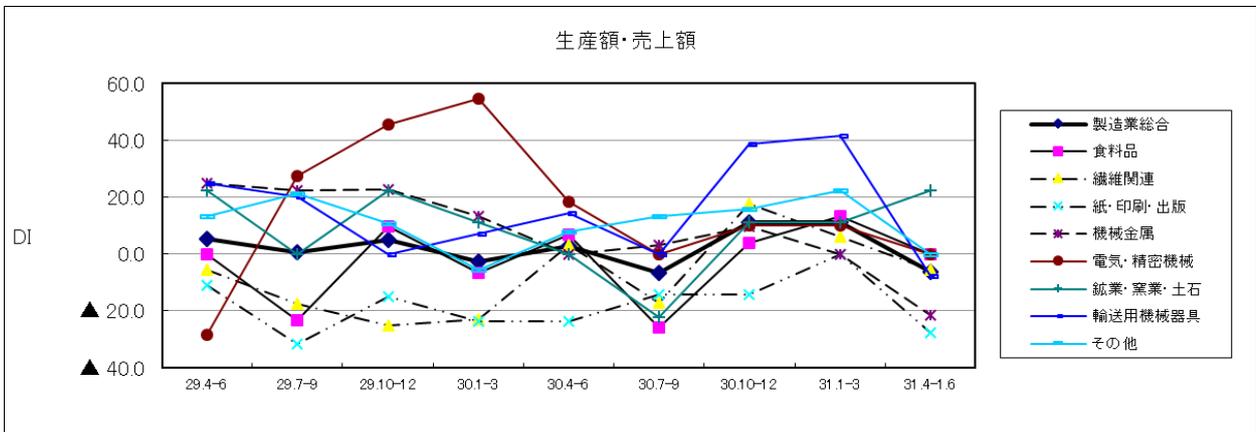
先行き見通し	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-6	1.7-9
総合	▲5.5	1.5	▲0.6	▲5.2	▲5.6	▲3.7	▲2.0	▲4.0	▲1.3



(2) 製造業の内訳

鉱業・窯業・土石ではプラス幅が拡大した。しかし、食料品、電気・精密機械、その他ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、繊維関連、輸送用機械器具ではプラスからマイナスへ転換、紙・印刷・出版、機械金属ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換した。

生産額・売上額	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
製造業総合	5.2	0.5	4.8	▲ 2.7	2.6	▲ 6.8	10.9	11.2	▲ 6.3
食料品	0.0	▲ 23.3	9.7	▲ 6.7	6.9	▲ 25.8	3.7	13.3	0.0
繊維関連	▲ 5.4	▲ 17.6	▲ 25.0	▲ 22.9	2.9	▲ 17.1	17.6	5.9	▲ 5.6
紙・印刷・出版	▲ 11.1	▲ 31.6	▲ 15.0	▲ 23.8	▲ 23.8	▲ 14.3	▲ 14.3	0.0	▲ 27.8
機械金属	25.0	22.2	22.6	13.3	0.0	3.1	9.7	0.0	▲ 21.4
電気・精密機械	▲ 28.6	27.3	45.5	54.5	18.2	0.0	10.0	10.0	0.0
鉱業・窯業・土石	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0	▲ 22.2	11.1	11.1	22.2
輸送用機械器具	25.0	20.0	0.0	7.1	14.3	0.0	38.5	41.7	▲ 7.7
その他	13.2	21.1	10.8	▲ 5.6	7.9	13.2	15.8	22.2	0.0



3. 受注額

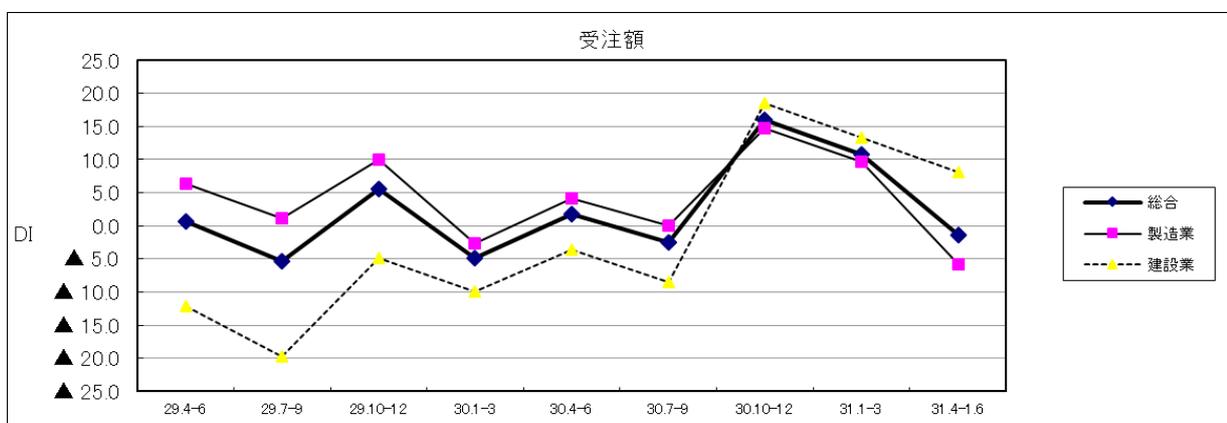
(1) 全体

総合DI（増加－減少）は▲1.4と1～3月期に比べ12.1ポイント悪化しプラスからマイナスへ転換した。

業種別では、建設業でプラス幅が縮小、製造業でプラスからマイナスに転換した。

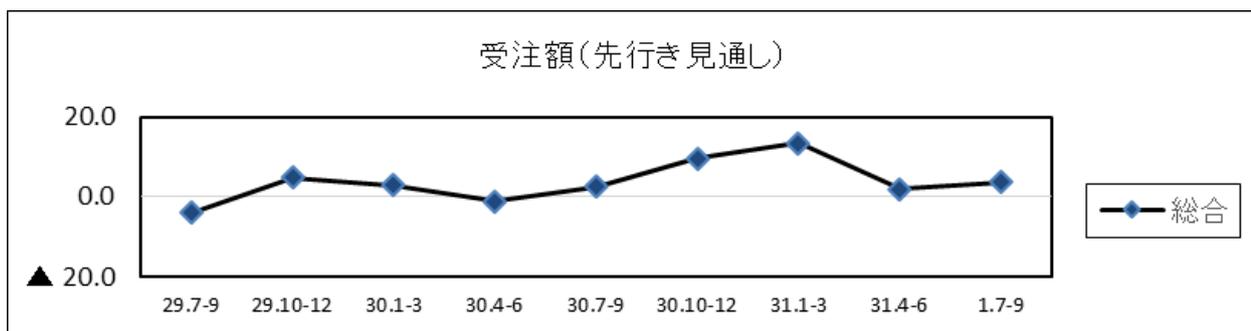
令和元年7～9月期の先行き見通し総合DIは3.7（前回1.9）となり、プラス幅が拡大する見通し。

受注額	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
総合	0.7	▲ 5.3	5.5	▲ 4.9	1.8	▲ 2.6	16.0	10.7	▲ 1.4
製造業	6.3	1.1	10.1	▲ 2.7	4.2	0.0	14.8	9.6	▲ 5.8
建設業	▲ 12.2	▲ 19.8	▲ 4.8	▲ 9.9	▲ 3.6	▲ 8.5	18.6	13.3	8.0



<参考> 先行き見通し

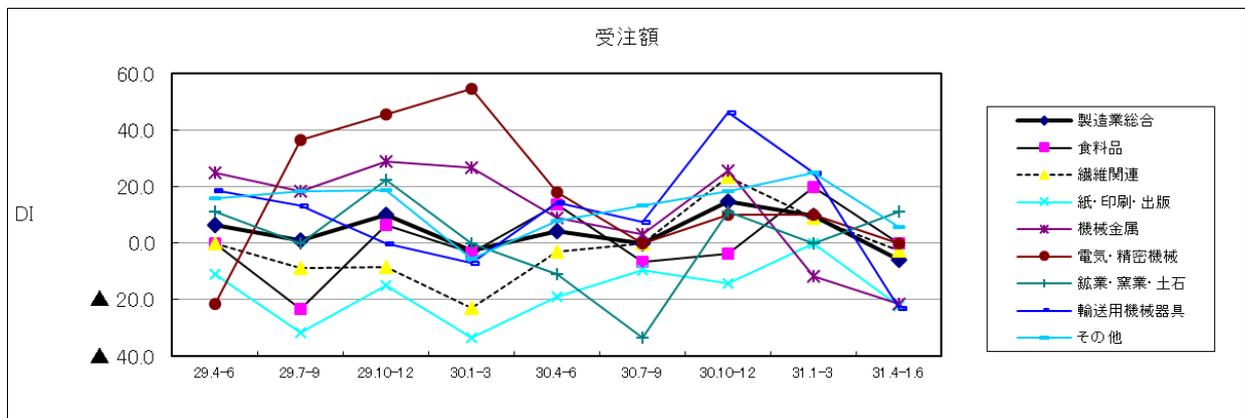
先行き見通し	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-6	1.7-9
総合	▲ 4.0	4.9	3.0	▲ 1.1	2.6	9.7	13.4	1.9	3.7



(2) 製造業の内訳

鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換した。しかし、その他ではプラス幅が縮小、食料品、電気・精密機械ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、紙・印刷・出版ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、繊維関連、輸送用機械器具ではプラスからマイナスへ転換、機械金属ではマイナス幅が拡大した。

受注額	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
製造業総合	6.3	1.1	10.1	▲ 2.7	4.2	0.0	14.8	9.6	▲ 5.8
食料品	0.0	▲ 23.3	6.5	▲ 3.3	13.8	▲ 6.5	▲ 3.7	20.0	0.0
繊維関連	0.0	▲ 8.8	▲ 8.3	▲ 22.9	▲ 2.9	0.0	23.5	8.8	▲ 2.8
紙・印刷・出版	▲ 11.1	▲ 31.6	▲ 15.0	▲ 33.3	▲ 19.0	▲ 9.5	▲ 14.3	0.0	▲ 22.2
機械金属	25.0	18.5	29.0	26.7	8.8	3.1	25.8	▲ 11.8	▲ 21.4
電気・精密機械	▲ 21.4	36.4	45.5	54.5	18.2	0.0	10.0	10.0	0.0
鉱業・窯業・土石	11.1	0.0	22.2	0.0	▲ 11.1	▲ 33.3	11.1	0.0	11.1
輸送用機械器具	18.8	13.3	0.0	▲ 7.1	14.3	7.7	46.2	25.0	▲ 23.1
その他	15.8	18.4	18.9	▲ 5.6	7.9	13.2	18.4	25.0	5.6



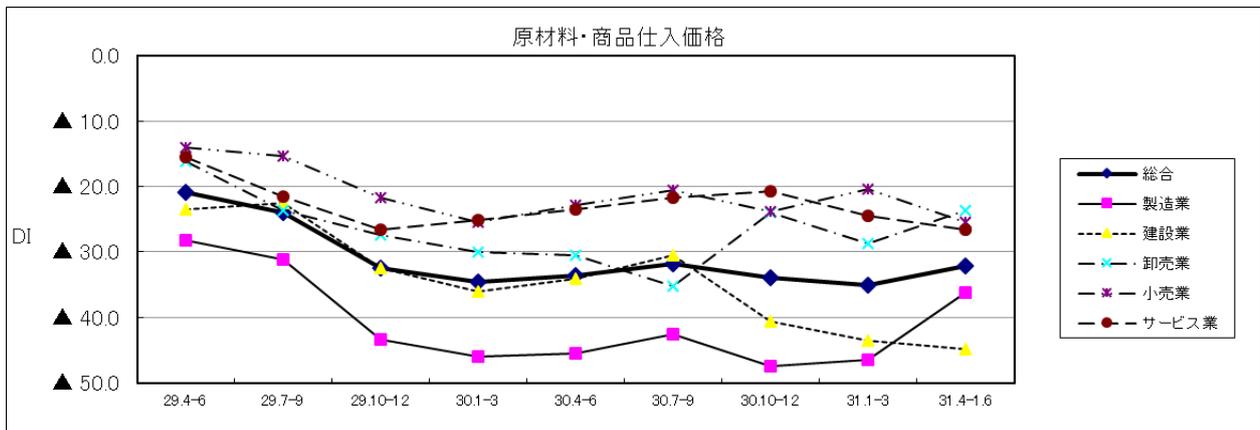
4. 原材料・商品仕入価格

(1) 全体

総合DI（下降－上昇）は▲32.2。2と1～3月期に比べ2.8ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、卸売業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業、小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

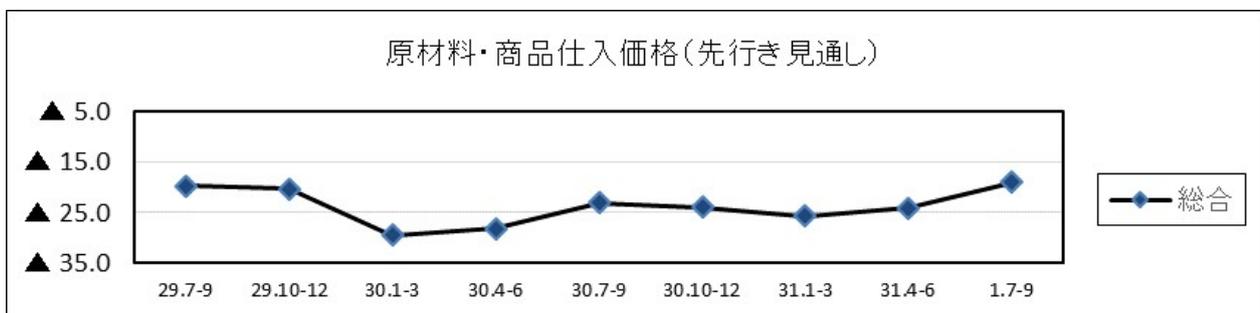
令和元年7～9月期の先行き見通し総合DIは▲19.0（前回▲24.2）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

原材料・商品仕入価格	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
総合	▲21.0	▲24.1	▲32.5	▲34.6	▲33.6	▲31.9	▲34.0	▲35.0	▲32.2
製造業	▲28.3	▲31.1	▲43.4	▲45.9	▲45.5	▲42.6	▲47.5	▲46.5	▲36.2
建設業	▲23.5	▲22.6	▲32.6	▲36.1	▲34.1	▲30.6	▲40.7	▲43.5	▲44.8
卸売業	▲16.2	▲23.6	▲27.4	▲30.0	▲30.6	▲35.3	▲23.9	▲28.8	▲23.6
小売業	▲14.1	▲15.3	▲21.6	▲25.5	▲22.9	▲20.6	▲23.9	▲20.5	▲25.5
サービス業	▲15.6	▲21.5	▲26.6	▲25.2	▲23.6	▲21.7	▲20.8	▲24.5	▲26.7



<参考> 先行き見通し

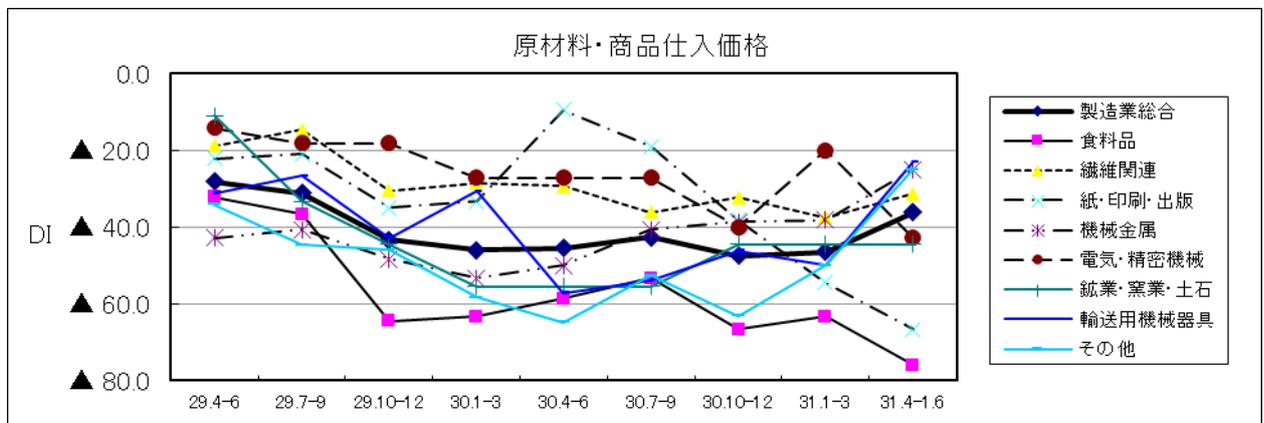
先行き見通し	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-6	1.7-9
総合	▲19.7	▲20.3	▲29.4	▲28.2	▲23.1	▲23.9	▲25.7	▲24.2	▲19.0



(2) 製造業の内訳

繊維関連、機械金属、輸送用機械器具、その他ではマイナス幅が縮小、鉱業・窯業・土石ではマイナスで横ばいとなった。しかし、食料品、紙・印刷・出版、電気・精密機械ではマイナス幅が拡大した。

原材料・商品仕入価格	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
製造業総合	▲ 28.3	▲ 31.1	▲ 43.4	▲ 45.9	▲ 45.5	▲ 42.6	▲ 47.5	▲ 46.5	▲ 36.2
食料品	▲ 32.3	▲ 36.7	▲ 64.5	▲ 63.3	▲ 58.6	▲ 53.3	▲ 66.7	▲ 63.3	▲ 76.0
繊維関連	▲ 18.9	▲ 14.7	▲ 30.6	▲ 28.6	▲ 29.4	▲ 36.1	▲ 32.4	▲ 37.5	▲ 31.4
紙・印刷・出版	▲ 22.2	▲ 21.1	▲ 35.0	▲ 33.3	▲ 9.5	▲ 19.0	▲ 38.1	▲ 54.5	▲ 66.7
機械金属	▲ 42.9	▲ 40.7	▲ 48.4	▲ 53.3	▲ 50.0	▲ 40.6	▲ 38.7	▲ 38.2	▲ 25.0
電気・精密機械	▲ 14.3	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 42.9
鉱業・窯業・土石	▲ 11.1	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 55.6	▲ 55.6	▲ 55.6	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 44.4
輸送用機械器具	▲ 31.3	▲ 26.7	▲ 42.9	▲ 30.8	▲ 57.1	▲ 53.8	▲ 46.2	▲ 50.0	▲ 23.1
その他	▲ 34.2	▲ 44.7	▲ 45.9	▲ 58.3	▲ 64.9	▲ 52.6	▲ 63.2	▲ 50.0	▲ 25.0



5. 製品・商品販売価格

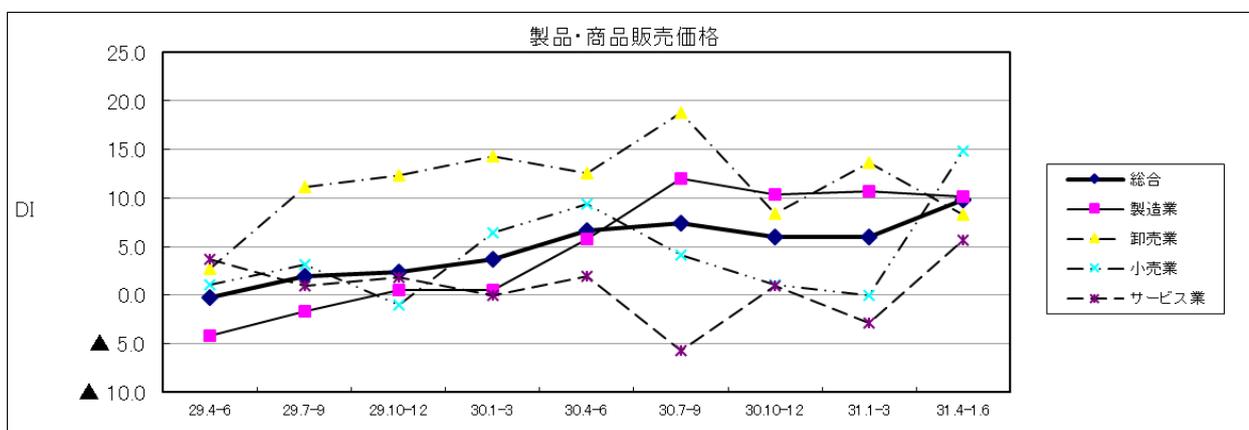
(1) 全体

総合DI（上昇＝下降）は9.8と1～3月期に比べ3.9ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、小売業でプラスマイナスゼロからプラスへ転換、サービス業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、製造業、卸売業ではプラス幅が縮小した。

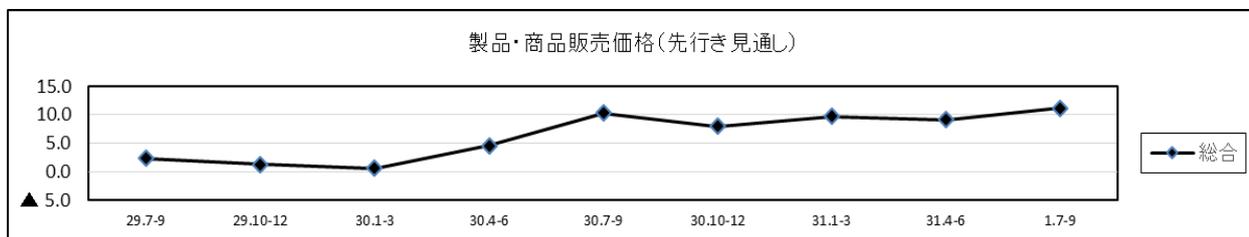
令和元年7～9月期の先行き見通し総合DIは11.2（前回9.2）となり、プラス幅が拡大する見通し。

製品・商品販売価格	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
総合	▲ 0.2	2.0	2.4	3.7	6.7	7.4	6.0	5.9	9.8
製造業	▲ 4.2	▲ 1.6	0.5	0.5	5.8	12.0	10.4	10.7	10.1
卸売業	2.7	11.1	12.3	14.3	12.5	18.8	8.5	13.7	8.3
小売業	1.0	3.1	▲ 1.0	6.4	9.4	4.1	1.1	0.0	14.9
サービス業	3.7	0.9	1.9	0.0	1.9	▲ 5.7	0.9	▲ 2.8	5.7



<参考> 先行き見通し

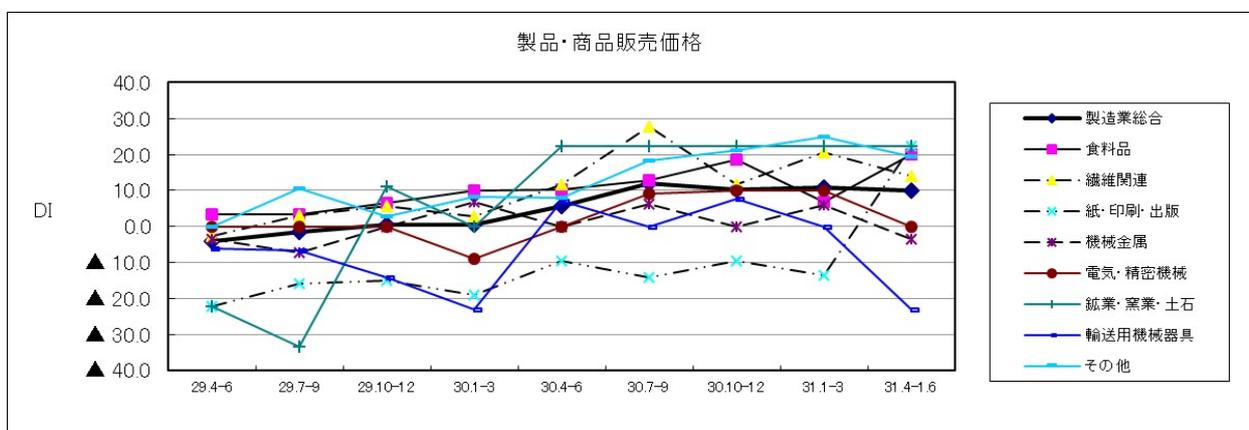
先行き見通し	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-6	1.7-9
総合	2.4	1.3	0.6	4.6	10.3	7.9	9.7	9.2	11.2



(2) 製造業の内訳

食料品ではプラス幅が拡大、紙・印刷・出版ではマイナスからプラスへ転換、鉱業・窯業・土石ではプラスで横ばいとなった。しかし、繊維関連、サービス業ではプラス幅が縮小、電気・精密機械ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、機械金属ではプラスからマイナスへ転換、輸送用機械器具ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換した。

製品・商品販売価格	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
製造業総合	▲ 4.2	▲ 1.6	0.5	0.5	5.8	12.0	10.4	10.7	10.1
食料品	3.2	3.3	6.5	10.0	10.3	12.9	18.5	6.7	20.0
繊維関連	▲ 2.7	2.9	5.6	2.9	11.8	27.8	11.8	20.6	13.9
紙・印刷・出版	▲ 22.2	▲ 15.8	▲ 15.0	▲ 19.0	▲ 9.5	▲ 14.3	▲ 9.5	▲ 13.6	22.2
機械金属	▲ 3.6	▲ 7.4	0.0	6.7	0.0	6.3	0.0	5.9	▲ 3.6
電気・精密機械	0.0	0.0	0.0	▲ 9.1	0.0	9.1	10.0	10.0	0.0
鉱業・窯業・土石	▲ 22.2	▲ 33.3	11.1	0.0	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2
輸送用機械器具	▲ 6.3	▲ 6.7	▲ 14.3	▲ 23.1	7.1	0.0	7.7	0.0	▲ 23.1
その他	0.0	10.5	2.7	8.3	7.9	18.4	21.1	25.0	19.4



6. 製品在庫・商品在庫

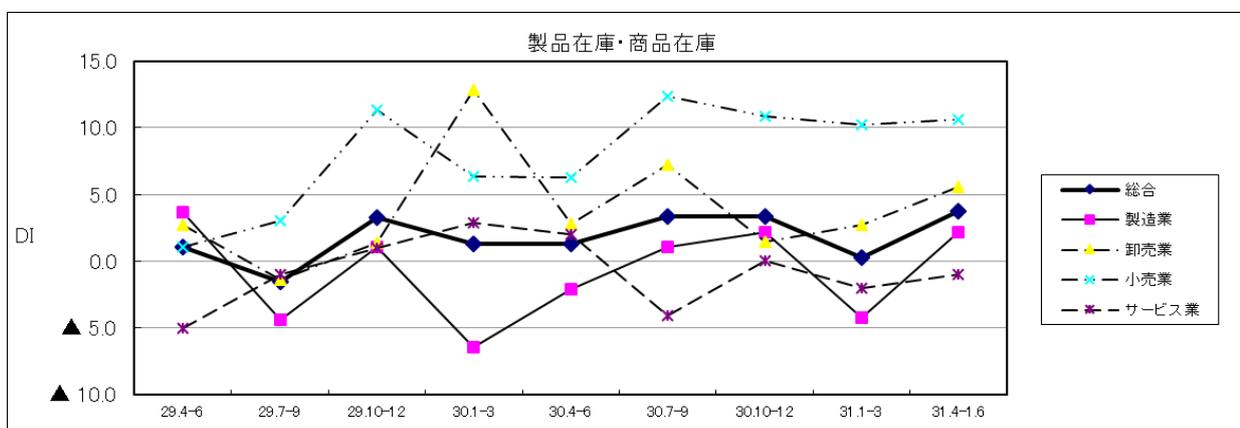
(1) 全体

総合DI（減少－増加）は3.7と1～3月期に比べ3.5ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、卸売業、小売業でプラス幅が拡大、製造業でマイナスからプラスへ転換、サービス業ではマイナスからプラスへ転換した。

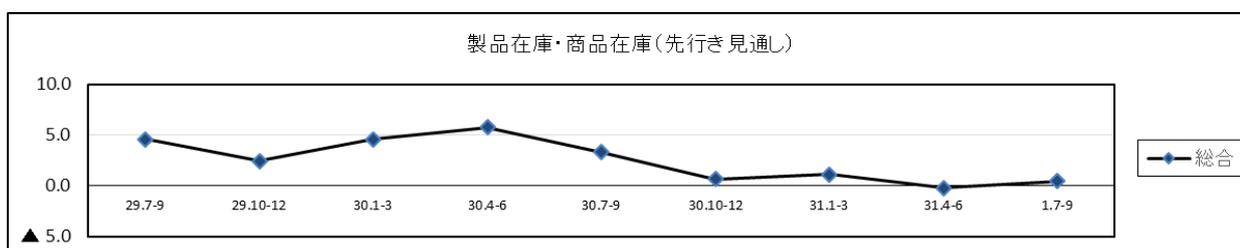
令和元年7～9月期の先行き見通し総合DIは0.4（前回▲0.2）となり、マイナスからプラスへ転換する見通し。

製品在庫・商品在庫	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
総合	1.1	▲ 1.5	3.3	1.3	1.3	3.3	3.4	0.2	3.7
製造業	3.7	▲ 4.4	1.1	▲ 6.5	▲ 2.1	1.1	2.2	▲ 4.3	2.1
卸売業	2.7	▲ 1.4	1.4	12.9	2.8	7.2	1.4	2.7	5.6
小売業	1.0	3.1	11.3	6.4	6.3	12.4	10.9	10.2	10.6
サービス業	▲ 5.0	▲ 1.0	1.0	2.9	2.0	▲ 4.1	0.0	▲ 2.0	▲ 1.0



<参考> 先行き見通し

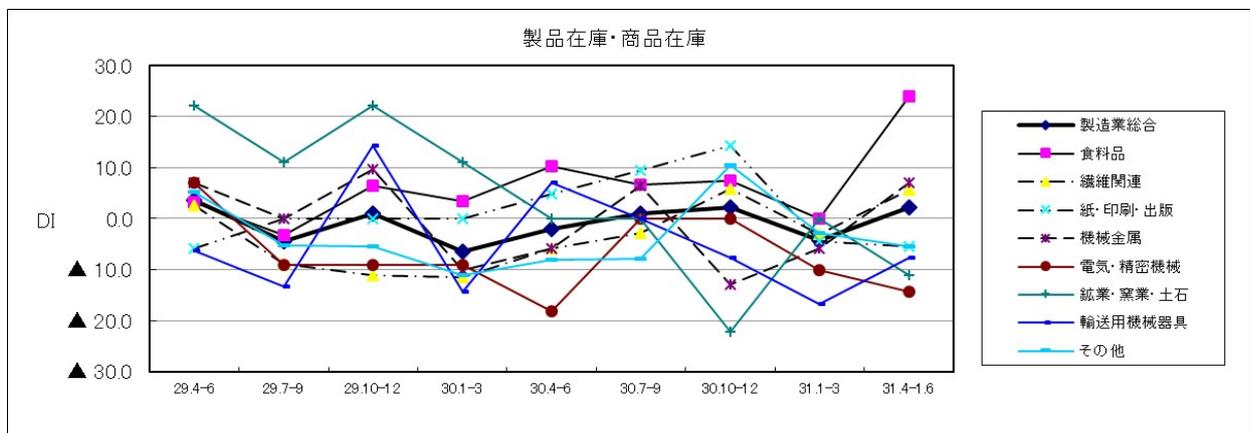
先行き見通し	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-6	1.7-9
総合	4.6	2.4	4.6	5.7	3.3	0.7	1.1	▲ 0.2	0.4



(2) 製造業の内訳

食料品ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、繊維関連、機械金属ではマイナスからプラスへ転換、輸送用機械器具ではマイナス幅が縮小した。しかし、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、紙・印刷・出版、電気・精密機械、その他ではマイナス幅が拡大した。

製品在庫・商品在庫	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
製造業総合	3.7	▲ 4.4	1.1	▲ 6.5	▲ 2.1	1.1	2.2	▲ 4.3	2.1
食料品	3.2	▲ 3.3	6.5	3.3	10.3	6.7	7.4	0.0	24.0
繊維関連	2.7	▲ 8.8	▲ 11.1	▲ 11.4	▲ 5.9	▲ 2.9	5.9	▲ 2.9	5.6
紙・印刷・出版	▲ 5.9	0.0	0.0	0.0	4.8	9.5	14.3	▲ 4.5	▲ 5.6
機械金属	7.1	0.0	9.7	▲ 10.0	▲ 5.9	6.5	▲ 12.9	▲ 5.9	7.1
電気・精密機械	7.1	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 18.2	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 14.3
鉱業・窯業・土石	22.2	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	▲ 22.2	0.0	▲ 11.1
輸送用機械器具	▲ 6.3	▲ 13.3	14.3	▲ 14.3	7.1	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.7
その他	5.3	▲ 5.3	▲ 5.4	▲ 11.1	▲ 8.1	▲ 7.9	10.5	▲ 2.8	▲ 5.6



7. 資金繰り

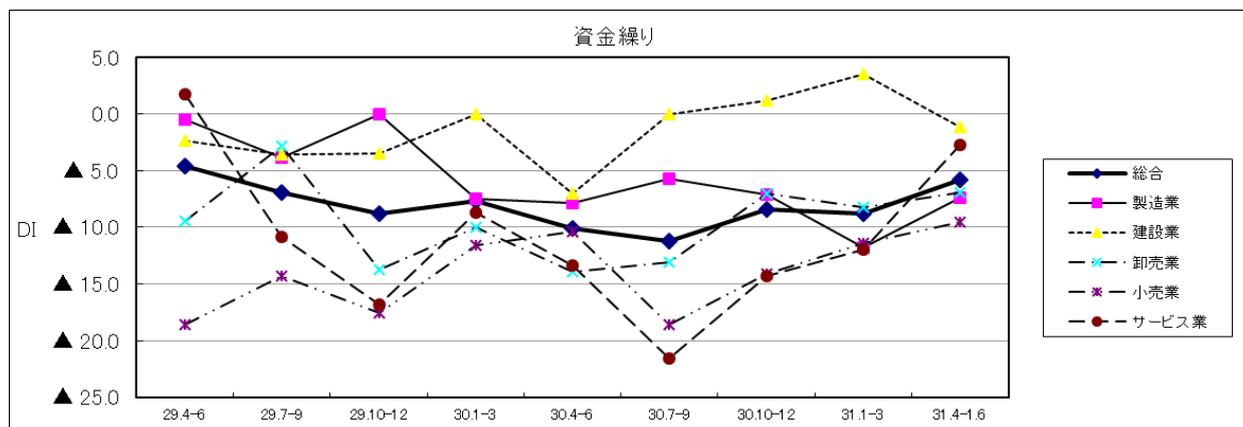
(1) 全体

総合DI（好転－悪化）は▲5.8と1～3月期に比べ3.0ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではプラスからマイナスへ転換した。

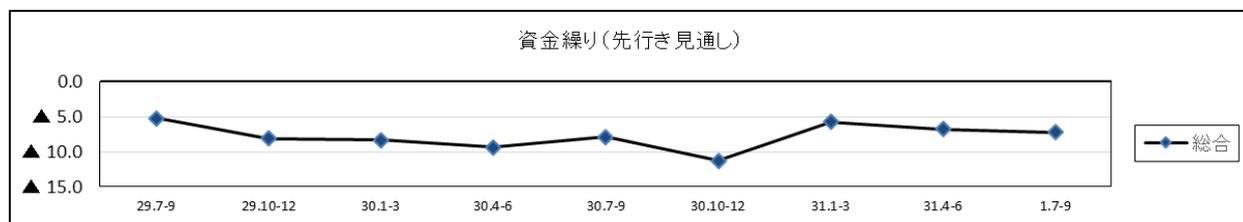
令和元年7～9月期の先行き見通し総合DIは▲7.2（前回▲6.8）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

資金繰り	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
総合	▲4.6	▲6.9	▲8.8	▲7.6	▲10.1	▲11.2	▲8.4	▲8.8	▲5.8
製造業	▲0.5	▲3.8	0.0	▲7.5	▲7.9	▲5.8	▲7.1	▲11.8	▲7.4
建設業	▲2.3	▲3.5	▲3.4	0.0	▲7.0	0.0	1.1	3.5	▲1.1
卸売業	▲9.5	▲2.8	▲13.7	▲10.0	▲13.9	▲13.0	▲7.0	▲8.2	▲6.9
小売業	▲18.6	▲14.3	▲17.5	▲11.6	▲10.4	▲18.6	▲14.1	▲11.4	▲9.6
サービス業	1.8	▲10.8	▲16.8	▲8.7	▲13.4	▲21.6	▲14.3	▲11.9	▲2.7



<参考> 先行き見通し

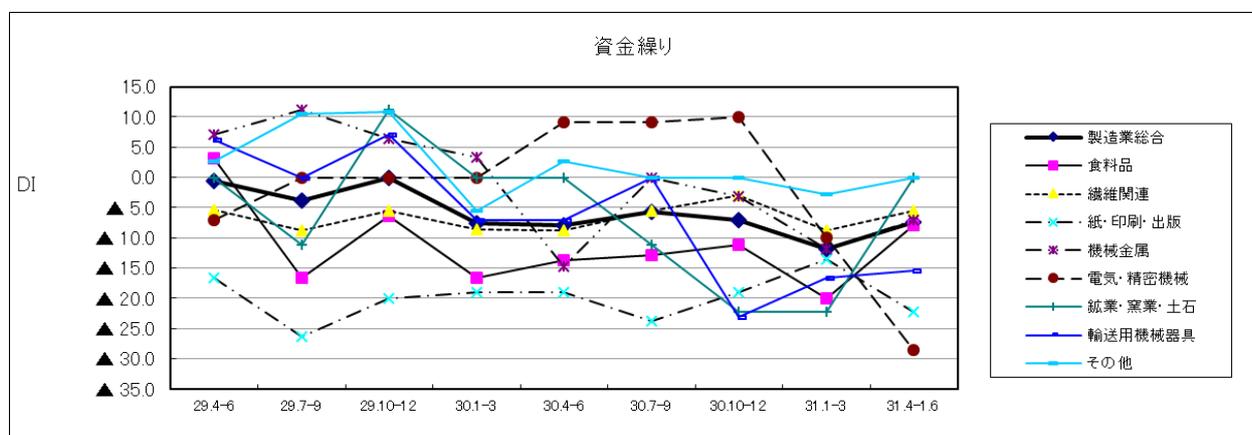
先行き見通し	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-6	1.7-9
総合	▲5.2	▲8.1	▲8.3	▲9.3	▲7.9	▲11.3	▲5.8	▲6.8	▲7.2



(2) 製造業の内訳

鉱業・窯業・土石、その他ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、食料品、繊維関連、機械金属、輸送用機械器具ではマイナス幅が縮小した。しかし、紙・印刷・出版、電気・精密機械ではマイナス幅が拡大した。

資金繰り	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
製造業総合	▲ 0.5	▲ 3.8	0.0	▲ 7.5	▲ 7.9	▲ 5.8	▲ 7.1	▲ 11.8	▲ 7.4
食料品	3.2	▲ 16.7	▲ 6.5	▲ 16.7	▲ 13.8	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 20.0	▲ 8.0
繊維関連	▲ 5.4	▲ 8.8	▲ 5.6	▲ 8.6	▲ 8.8	▲ 5.6	▲ 2.9	▲ 8.8	▲ 5.6
紙・印刷・出版	▲ 16.7	▲ 26.3	▲ 20.0	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 19.0	▲ 13.6	▲ 22.2
機械金属	7.1	11.1	6.5	3.3	▲ 14.7	0.0	▲ 3.2	▲ 11.8	▲ 7.1
電気・精密機械	▲ 7.1	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	10.0	▲ 10.0	▲ 28.6
鉱業・窯業・土石	0.0	▲ 11.1	11.1	0.0	0.0	▲ 11.1	▲ 22.2	▲ 22.2	0.0
輸送用機械器具	6.3	0.0	7.1	▲ 7.1	▲ 7.1	0.0	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 15.4
その他	2.7	10.5	10.8	▲ 5.6	2.6	0.0	0.0	▲ 2.8	0.0



8. 採算（収益）

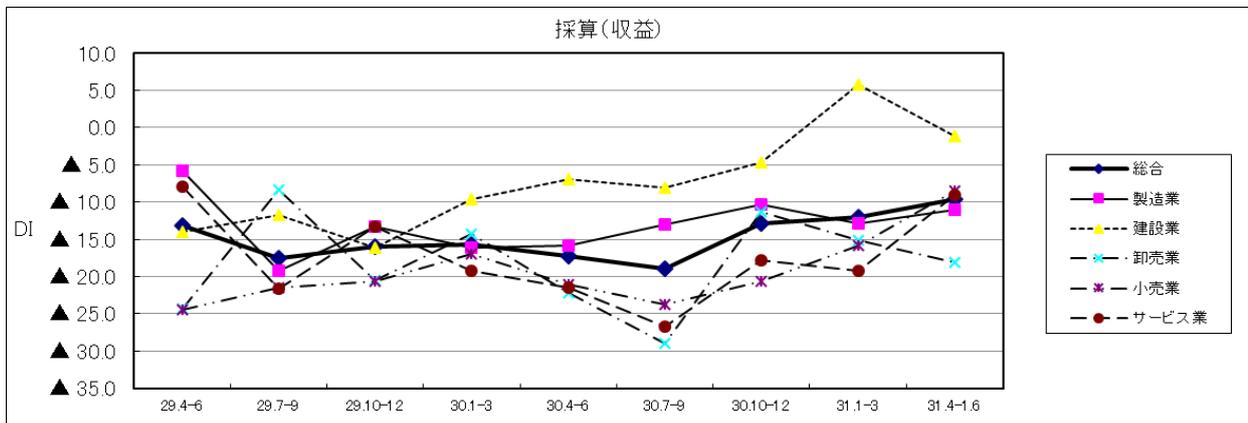
(1) 全体

総合D I（好転－悪化）は▲9. 6と1～3月期に比べ2. 4ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではプラスからマイナスへ転換、卸売業ではマイナス幅が拡大した。

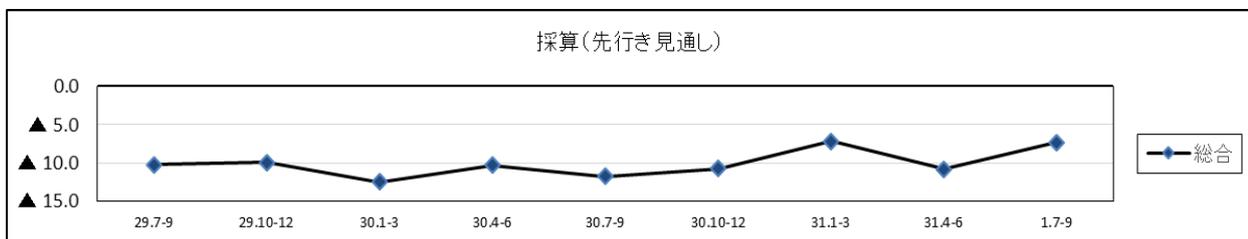
令和元年7～9月期の先行き見通し総合D Iは▲7. 3（前回▲10. 8）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

採算(収益)	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
総合	▲ 13.2	▲ 17.5	▲ 15.9	▲ 15.7	▲ 17.3	▲ 18.9	▲ 12.9	▲ 12.0	▲ 9.6
製造業	▲ 5.8	▲ 19.2	▲ 13.3	▲ 16.1	▲ 15.8	▲ 13.1	▲ 10.4	▲ 12.9	▲ 11.1
建設業	▲ 14.0	▲ 11.8	▲ 16.1	▲ 9.6	▲ 7.0	▲ 8.1	▲ 4.7	5.8	▲ 1.1
卸売業	▲ 24.3	▲ 8.3	▲ 20.5	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 29.0	▲ 11.3	▲ 15.1	▲ 18.1
小売業	▲ 24.5	▲ 21.4	▲ 20.6	▲ 17.0	▲ 21.1	▲ 23.7	▲ 20.7	▲ 15.9	▲ 8.5
サービス業	▲ 8.0	▲ 21.6	▲ 13.3	▲ 19.3	▲ 21.4	▲ 26.8	▲ 17.9	▲ 19.3	▲ 9.0



<参考> 先行き見通し

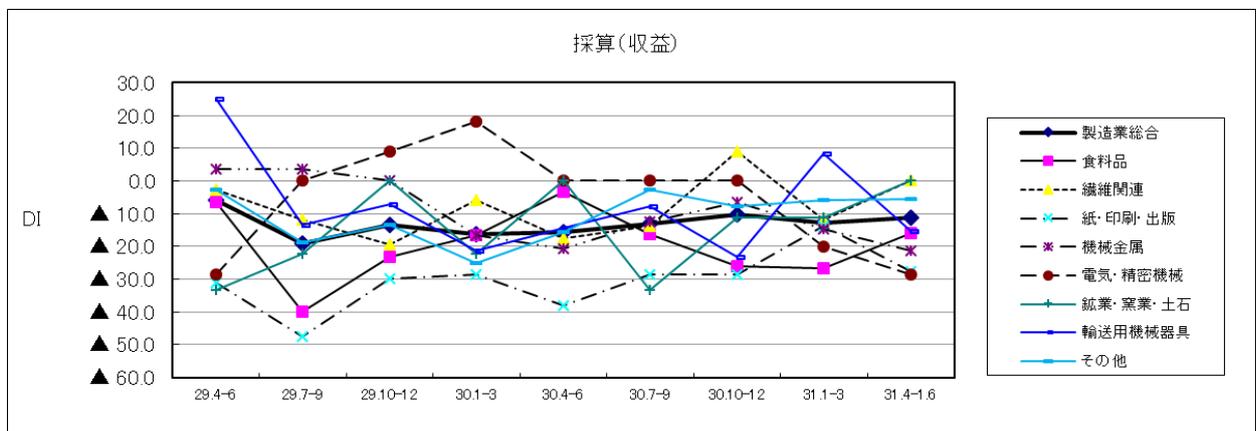
先行き見通し	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-6	1.7-9
総合	▲ 10.3	▲ 9.9	▲ 12.5	▲ 10.3	▲ 11.7	▲ 10.7	▲ 7.2	▲ 10.8	▲ 7.3



(2) 製造業の内訳

繊維関連、鉱業・窯業・土石ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、食料品、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、輸送用機械器具ではプラスからマイナスへ転換、紙・印刷・出版、機械金属、電気・精密機械ではマイナス幅が拡大した。

採算(収益)	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
製造業総合	▲ 5.8	▲ 19.2	▲ 13.3	▲ 16.1	▲ 15.8	▲ 13.1	▲ 10.4	▲ 12.9	▲ 11.1
食料品	▲ 6.5	▲ 40.0	▲ 23.3	▲ 16.7	▲ 3.4	▲ 16.1	▲ 25.9	▲ 26.7	▲ 16.0
繊維関連	▲ 2.7	▲ 11.8	▲ 19.4	▲ 5.7	▲ 17.6	▲ 13.9	8.8	▲ 11.8	0.0
紙・印刷・出版	▲ 31.3	▲ 47.4	▲ 30.0	▲ 28.6	▲ 38.1	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 13.6	▲ 27.8
機械金属	3.6	3.7	0.0	▲ 16.7	▲ 20.6	▲ 12.5	▲ 6.5	▲ 14.7	▲ 21.4
電気・精密機械	▲ 28.6	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 28.6
鉱業・窯業・土石	▲ 33.3	▲ 22.2	0.0	▲ 22.2	0.0	▲ 33.3	▲ 11.1	▲ 11.1	0.0
輸送用機械器具	25.0	▲ 13.3	▲ 7.1	▲ 21.4	▲ 14.3	▲ 7.7	▲ 23.1	8.3	▲ 15.4
その他	▲ 2.6	▲ 18.9	▲ 13.5	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 2.6	▲ 7.9	▲ 5.7	▲ 5.6



9. 従業員数（常用）

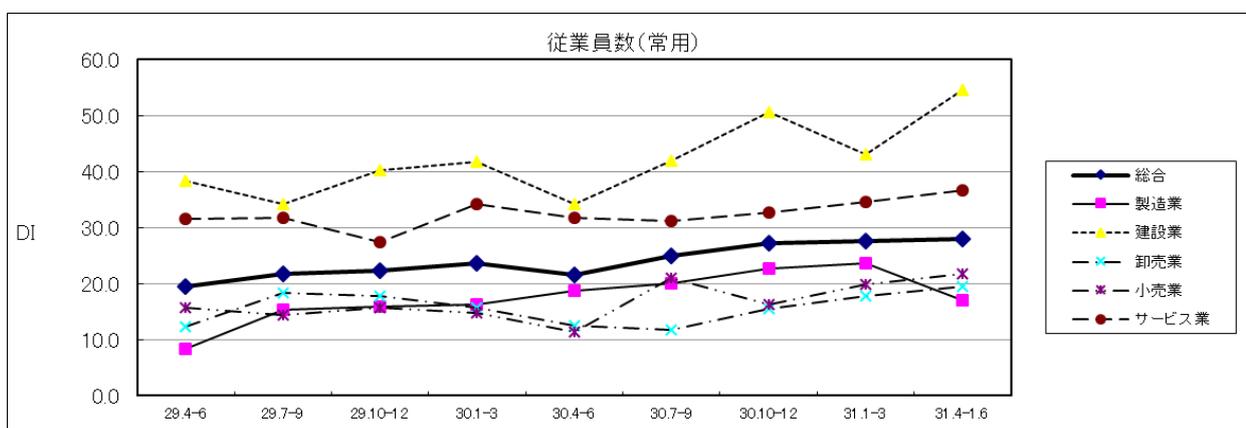
(1) 全体

総合D I（不足－過剰）は28.1と1～3月期に比べ0.6ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、建設業、卸売業、小売業、サービス業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業ではプラス幅が縮小した。

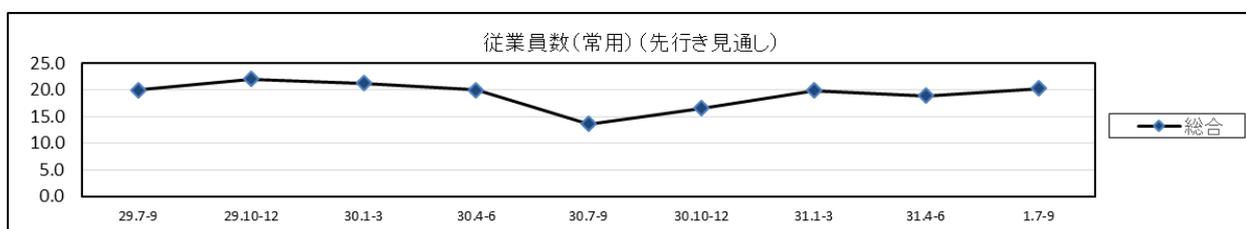
令和元年7～9月期の先行き見通し総合D Iは20.3（前回18.9）となり、プラス幅が拡大する見通し。

従業員数(常用)	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
総合	19.5	21.8	22.3	23.6	21.6	25.0	27.2	27.5	28.1
製造業	8.4	15.4	16.0	16.3	18.7	20.0	22.7	23.7	17.0
建設業	38.4	34.1	40.2	41.7	34.1	41.9	50.6	43.0	54.5
卸売業	12.3	18.3	17.8	15.7	12.5	11.8	15.5	17.8	19.4
小売業	15.6	14.4	15.6	14.7	11.5	21.1	16.3	19.8	21.7
サービス業	31.6	31.8	27.4	34.2	31.8	31.2	32.7	34.5	36.7



<参考> 先行き見通し

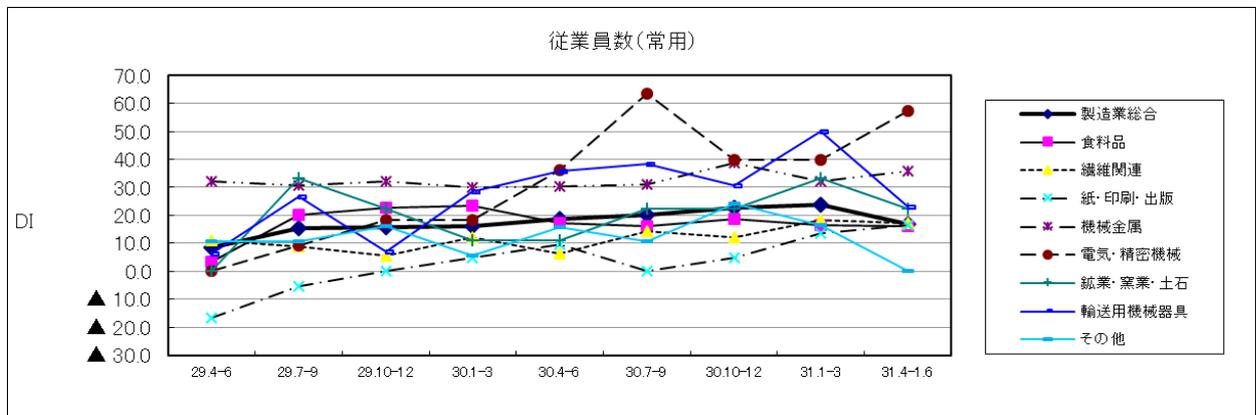
先行き見通し	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-6	1.7-9
総合	20.0	22.1	21.3	20.1	13.7	16.6	19.9	18.9	20.3



(2) 製造業の内訳

紙・印刷・出版、機械金属、電気・精密機械はプラス幅が拡大した。しかし、その他ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、食料品、繊維関連、鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具ではプラス幅が縮小した。

従業員数(常用)	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
製造業総合	8.4	15.4	16.0	16.3	18.7	20.0	22.7	23.7	17.0
食料品	3.2	20.0	22.6	23.3	17.2	16.1	18.5	16.7	16.0
繊維関連	11.1	8.8	5.7	12.1	6.3	14.3	12.1	18.2	17.1
紙・印刷・出版	▲ 16.7	▲ 5.3	0.0	4.8	9.5	0.0	4.8	13.6	16.7
機械金属	32.1	30.8	32.3	30.0	30.3	31.3	38.7	32.4	35.7
電気・精密機械	0.0	9.1	18.2	18.2	36.4	63.6	40.0	40.0	57.1
鉱業・窯業・土石	0.0	33.3	22.2	11.1	11.1	22.2	22.2	33.3	22.2
輸送用機械器具	6.3	26.7	7.1	28.6	35.7	38.5	30.8	50.0	23.1
その他	10.5	10.5	16.2	5.6	15.8	10.5	24.3	16.7	0.0



10. 従業員数（臨時）

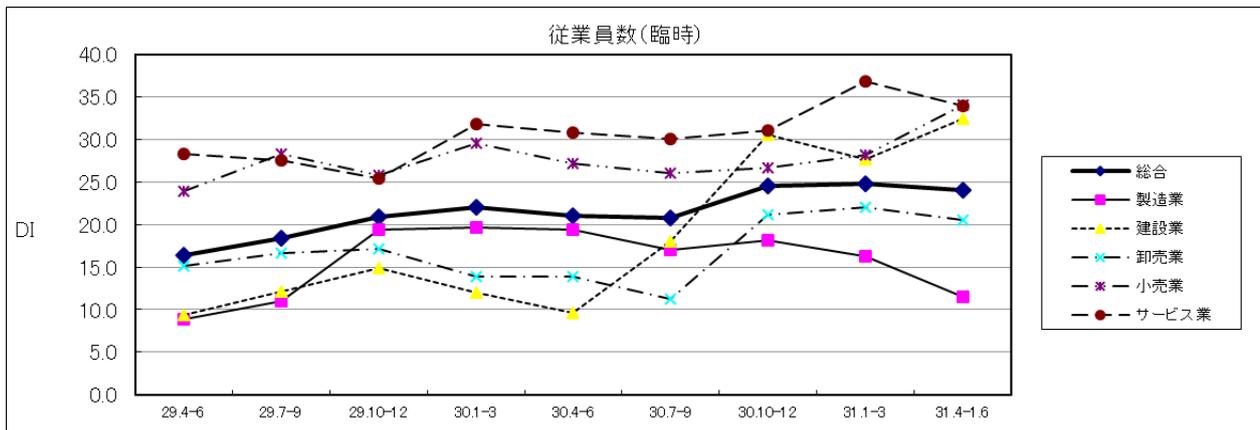
(1) 全体

総合D I（不足－過剰）は24.1と1～3月期に比べ0.8ポイントプラス幅が縮小した。

業種別では、建設業、小売業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業、卸売業、サービス業でプラス幅が縮小した。

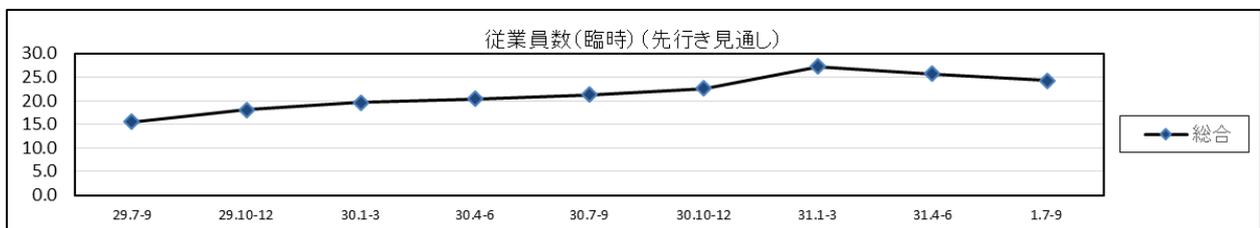
令和元年7～9月期の先行き見通し総合D Iは24.3（前回25.7）となり、プラス幅が縮小する見通し。

従業員数(臨時)	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
総合	16.4	18.4	20.9	22.0	21.1	20.7	24.6	24.9	24.1
製造業	8.9	11.0	19.4	19.7	19.4	17.0	18.1	16.2	11.5
建設業	9.3	12.2	14.9	12.0	9.6	18.1	30.6	27.6	32.4
卸売業	15.2	16.7	17.2	13.8	13.8	11.3	21.2	22.1	20.6
小売業	23.9	28.3	25.8	29.5	27.2	26.1	26.7	28.2	34.1
サービス業	28.3	27.6	25.5	31.8	30.8	30.1	31.1	36.9	34.0



<参考> 先行き見通し

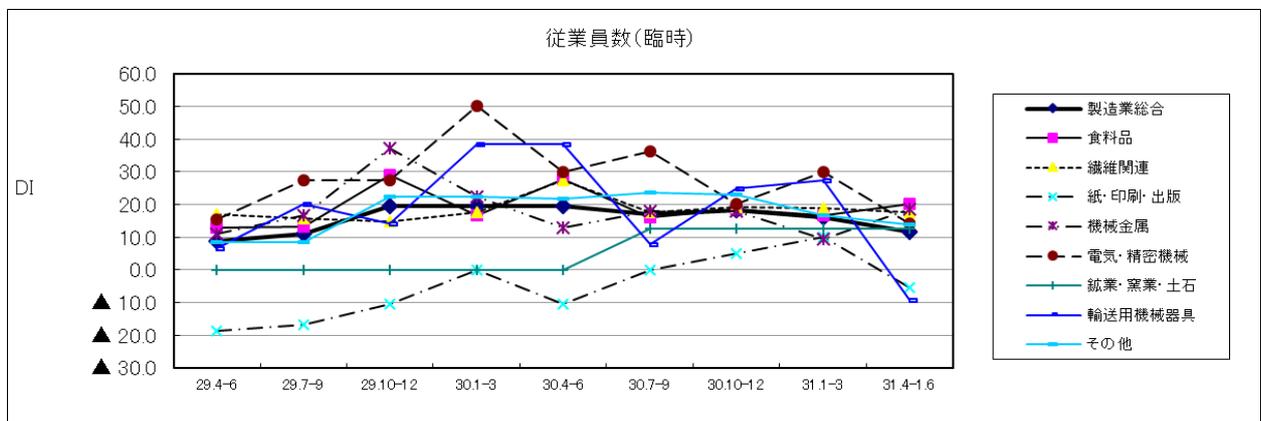
先行き見通し	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-6	1.7-9
総合	15.5	18.1	19.6	20.4	21.2	22.6	27.2	25.7	24.3



(2) 製造業の内訳

食料品、機械金属ではプラス幅が拡大、鉱業・窯業・土石ではプラスで横ばいとなった。しかし、繊維関連、電気・精密機械、その他ではプラス幅が縮小、紙・印刷・出版、輸送用機械器具ではプラスからマイナスへ転換した。

従業員数(臨時)	29.4-6	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6
製造業総合	8.9	11.0	19.4	19.7	19.4	17.0	18.1	16.2	11.5
食料品	12.9	13.3	29.0	16.7	27.6	16.1	18.5	16.7	20.0
繊維関連	17.1	15.6	14.7	17.6	27.3	17.6	19.4	18.8	17.6
紙・印刷・出版	▲ 18.8	▲ 16.7	▲ 10.5	0.0	▲ 10.5	0.0	5.0	10.0	▲ 5.6
機械金属	11.1	16.7	37.0	22.2	12.9	17.9	17.9	9.4	18.5
電気・精密機械	15.4	27.3	27.3	50.0	30.0	36.4	20.0	30.0	14.3
鉱業・窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5
輸送用機械器具	6.7	20.0	14.3	38.5	38.5	7.7	25.0	27.3	▲ 9.1
その他	8.6	8.6	22.2	22.2	21.6	23.7	22.9	16.7	13.9

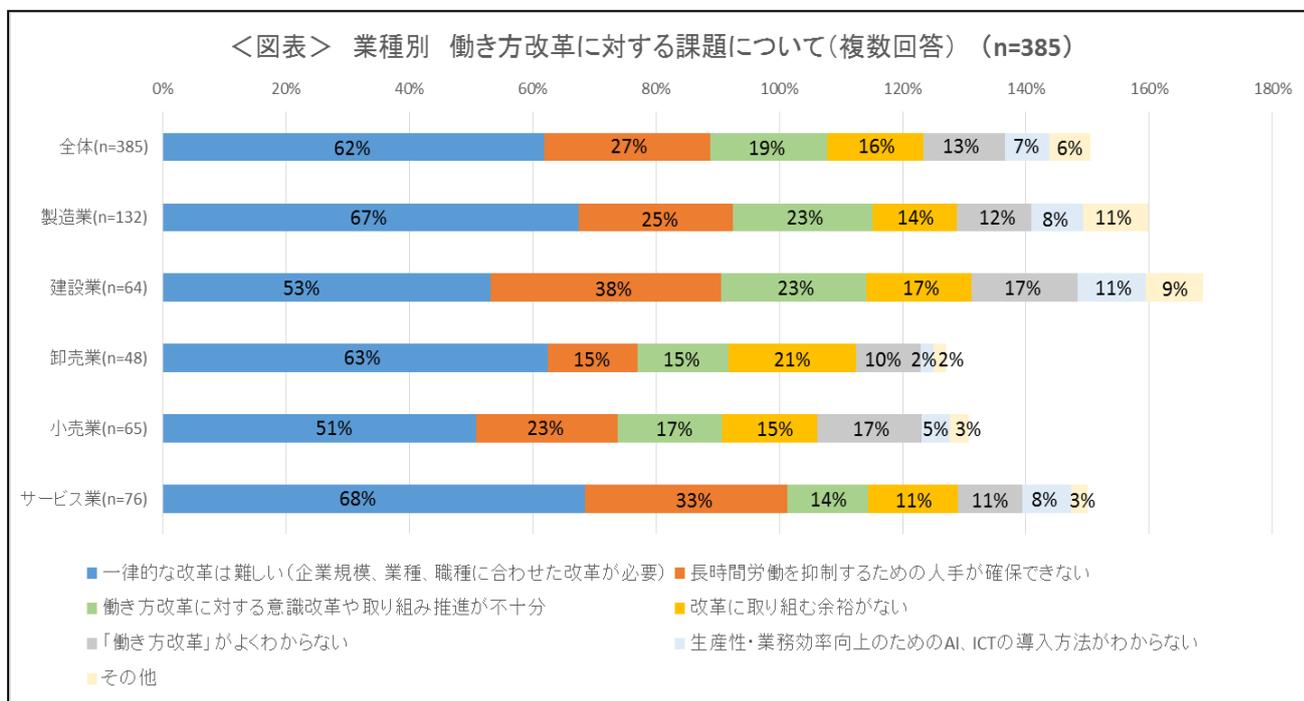


◆付帯調査：働き方改革について

働く人が多様な働き方を選択できる社会を実現するため、今年4月から「働き方改革関連法」が順次施行されます。貴事業所にとって、働き方改革を進めていく上での課題はありますか。

当てはまるものを下記から選んでください。(複数回答可)

1. 「働き方改革」がよくわからない
2. 改革に取り組む余裕がない
3. 長時間労働を抑制するための人手が確保できない
4. 一律的な改革は難しい(企業規模、業種、職種に合わせた改革が必要)
5. 生産性・業務効率向上のためのAI、ICTの導入方法がわからない
6. 働き方改革に対する意識改革や取り組み推進が不十分
7. その他



※複数回答のため、表中にラベル表記されるパーセントは回答項目を選んだ人が回答者のうち、何パーセントを占めるかを示している。そのため、各回答項目の比率を合計すると100%を超えることもある。

○その他の主な意見

- ・行政、役所への提出書類がネックになっている(岡山・建設業)
- ・既に取り組んでいたので大きな変化はない(岡山・卸売業)
- ・労働環境の改善と業績向上を連動させる有効な検証方法が見つからない(岡山・小売業)
- ・お客様からの急ぎの要望に応えないといけないなど、自社だけではコントロールできない(岡山・サービス業)
- ・政府は、中小企業の「働き方」がわかっているとは思えない。大企業のみとしてほしい(倉敷・サービス業)
- ・「働き方改革」で優秀な人材や必要な人手が確保できず、最低賃金が毎年上昇し、人件費が高騰し原料仕入価格も上昇する中、商品の値上げは認められず、秋の消費税増税を控え、景況改善の見通しは全く持てない状況(倉敷・食料品)
- ・働き方改革に反対(新見・建設業)